

臨時報

**ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)
初回決算のお知らせ**



追加型株式投資信託/バランス型

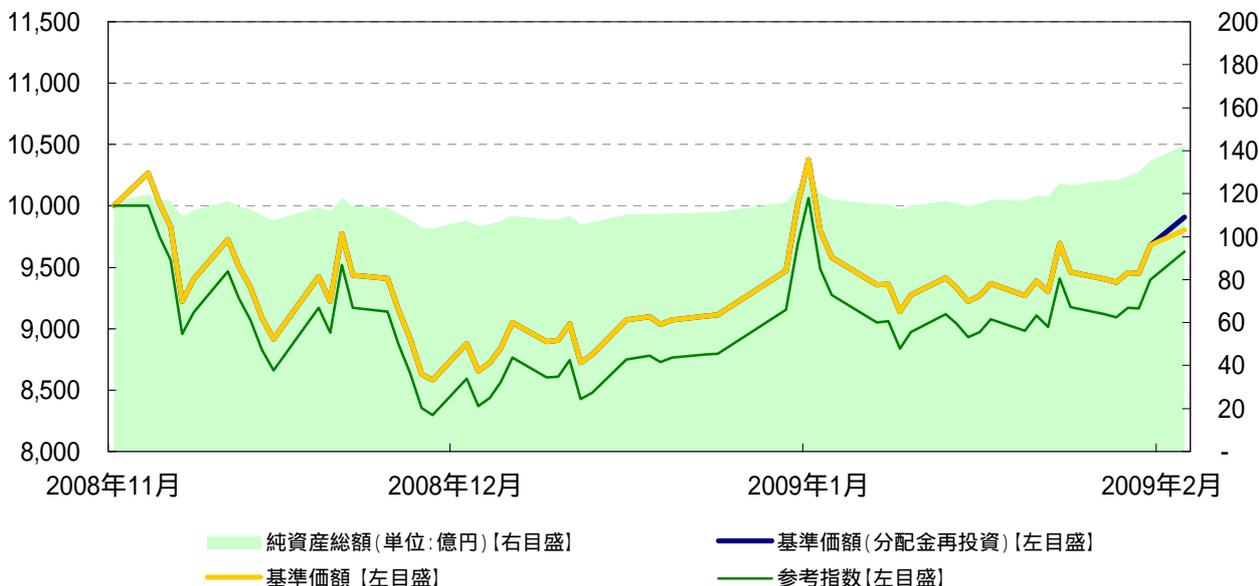
当ファンドは2月9日に第1期の決算を迎えました。運用状況についてご報告申し上げます。なお、運用経過の詳細につきましては、マンスリーレポート等をご参照ください。

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)(当初設定日:2008年11月7日)は、2009年2月9日に第1期決算を迎えました。当期の分配金は、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり100円(税引前)といたしました。決算日の基準価額は9,807円(設定来 193円)となりました。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合がございます。

運用状況 (基準価額の推移)

(設定日:2008年11月7日~2009年2月9日)



基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日、参考指数は設定日翌営業日を10,000として指数化しています。
 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.575%(税抜1.5%)控除後の値です。
 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもものとして計算しており、追加設定時信託財産留保額は考慮していません。

参考指数はIRF - M指数(円換算ベース)です。
 IRF - M指数とは、ANDIMA(ブラジル金融機関連盟)が発表するブラジルリアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。IRF - M指数(円換算ベース)とは、IRF - M指数をもとに、委託会社が計算したものです。

分配金実績 (1万口当たり、税引前)

設定来累計				
100円				
2009/2/9				
100円				

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

(注)当資料中のグラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)

ファンドの特色

- ・主として、ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
- ・ブラデスコ・アセットマネジメントにマザーファンドにおける債券等の運用指図に関する権限を委託します。
- ・原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・「分配重視型」と「成長重視型」があります。

商品概要

信託期間 : 2008年11月7日から2018年10月9日まで
 決算日 : 原則として、毎月8日(休業日の場合は翌営業日)
 参考指数 : IRF - M指数(円換算ベース)
 お買付け申込み・中途換金 : 原則として、いつでもお買付け申込み、換金のお申込みができます。ただし、サンパウロ証券取引所の休業日およびサンパウロ、ニューヨークの銀行の休業日に該当する日については、お買付け・中途換金のお申込みができません。
 申込価額 : 販売基準価額(取得申込受付日の翌営業日の基準価額 + 追加設定時信託財産留保額)

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

申込時に直接ご負担いただく費用
 追加設定時信託 : 取得申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0%
 財産留保額 : (ブラジル債券への投資に際して行う為替取引に課される金融取引税に相当するものとして委託会社が定める率。料率は今後変更になる可能性があります。必ずしも、金融取引税の税率変更と同じタイミングで変更されるわけではありません。)
 申込手数料 : 申込価額 × 3.15% (税抜3%) を上限として販売会社が定める手数料率
 換金時に直接ご負担いただく費用
 信託財産留保額 : なし
 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率1.575% (税抜1.5%)
 その他費用(*) : 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等
 (*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
 なお、お客様にご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 (課税関係) 個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。
 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
 当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

[お申込不可日について] 2009年の該当日は、1月19日、2月16日、2月23日、2月24日、4月10日、4月21日、5月1日、5月25日、6月11日、7月9日、9月7日、11月2日、11月11日、11月20日、11月26日、12月24日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に公社債を実質的な投資対象としますので、金利変動により組入公社債の価格が下落すること、組入公社債の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入公社債の価格が下落すること等で当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。当ファンドは、新興国通貨建て公社債に投資するため、先進国への投資を行う場合に比べ、為替の変動が大きくなる可能性があります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入公社債の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等があります。
 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 リスク」をご覧ください。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。/ 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/ 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ... 三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 (社)投資信託協会
 (社)日本証券投資顧問業協会

<お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034 (毎営業日の9:00 ~ 17:00)
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 (*メール配信対象外ファンドもあります。)



ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)
当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

市場リスク	<p>(価格変動リスク) 当ファンドは、公社債を実質的な主要投資対象としており、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 実質的な主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
信用リスク	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
流動性リスク	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
カントリーリスク	<p>新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込む可能性が高まることがあります。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。 ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。 ・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

